

ナラノココノエザクラについて

川端一弘

ナラノココノエザクラはナラノヤエザクラがカスミザクラが突然変異して重弁化したサク
ラであることに対してヤマザクラが突然変異したサクラである。このサクラが発見された
経緯は奈良公園の白蛇川岸に植えられたヤマザクラのうちに重弁化したものが発見された
ことにある。大阪毎日新聞の昭和4年4月18日奈良版記事には以下のことが掲載されてい
る。

「奈良公園の『九重桜』 園内数千本から選ばれた良種

奈良公園には数千本の桜樹があるが、その内でただ一本春日野運動場にある根廻り約五尺
の桜樹は山桜系の八重で、その色彩花の形が全く他に比類のない良種で、こゝ二三日は咲き
も終らず散りもせぬ見頃であるが、公園課ではこれを「九重桜」と命名し明年からこの桜を
接木して公園内に蕃殖せしむる計画を立てている」

また同日の大阪朝日新聞大和版には



「東大寺東

塔址の傍にさき
誇る名花 九重
桜と新たに命名
奈良公園の桜は
昨今満開でいた
るところにある
が、今なほ十分
に知られず隠れ
た名花も少なく
ない、そのうち春
日野運動場北側
東大寺東塔址の
道側小川の岸に
のぞんだ八重山
桜は廻り四尺五
寸、花の色は帯

大阪朝日新聞・大和版 昭和四年四月十八日

紅色でほんとうのさくら色、上品で優美を兼ね山桜系として珍らしく公園数千本中たゞこ
の一本あるのみである、本年坂田公園課長が発見し「九重桜」と命名近く保存の方法を講ず
ると共に、来年からその増植をはかり公園に植栽するの計画、花はこの数日が満開の見ころ
である」

とある。

このサクラであるが大阪毎日新聞大和版、大正13年3月14日によると

嫩草山の麓に桜の植付 近く取りかゝる

既報奈良実業協会が御成婚記念事業として奈良の花の名所を一つ殖やすべく嫩草山二重目裏と三重目麓との間に植付ける桜樹二千本は、今日兵庫県川辺郡川西村日本園芸会社から千本、他の千本は山辺郡尾崎植物園及吉野村吉野山大木植木店等から購入することとなり、日本園芸社の一千本は両三日中に到着の上、直に植付けに着手する予定で、場所の地均しは最早殆ど了ったが、桜樹の支柱は奈良公園花山殖林から切捨木五、六千本を搬出することとなり、目下搬出中である、尚桜樹の保護上鹿害防止のため当分の間木柵を施すと

とある、大阪朝日新聞大和版昭和4年4月8日によると

観桜会 実業協会の企て

奈良実業協会では三年前三笠山北側に記念植栽の桜樹数千本が本年は相当花をつけたので、来る十六日午後二時から観桜会を催すこととなった、会費二円参加希望者は同協会へ申込みのこと

とあり昭和天皇の御成婚記念事業としてヤマザクラを若草山北側や白蛇川附近（東大寺東塔跡南）に植栽したものであるそうだ。そのうちの一本が重弁化したナラノココノエザクラであった。数年前までトイレの裏にその原木があったが突然倒れ（幹が空洞となっていた）枯死したと奈良公園管理事務所より電話があったが残念なことである。ナラノココノエザクラの発見の事情が新聞記事により判明する。

このナラノココノエザクラについては平野弘二氏の論説 1998 がある。平野氏はナラノココノエザクラとしているがナラノと「ノ」を加えていることを了承されたい。特徴として萼裂片には副萼裂片があり、生育がよいものは萼裂片が 10 枚に見えることである。また雌しべがときおり 2 本、まれに 3 本が見られ果実もそれぞれ一花に 1 個、2 個が見られる。

奈良公園自然史の会ではナラノヤエザクラの観察会を行っているが同時にナラノココノエザクラの果実も観察していただいている。

参考文献

平野弘二.1998,ナラノココノエザクラの学名と特徴.分類・地理 49(1)分類・地理学会